

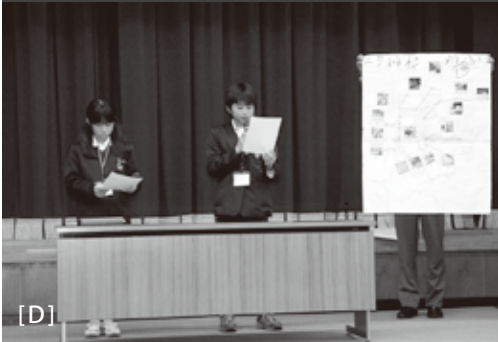
【写真解説】

[C] 防災先進地研修

阪神・淡路大震災で倒壊した道路を再現したモニュメントに目を見張る児童。（北淡町震災記念公園にて）

[D] 第2回子ども防災サミット

防災先進地研修で感じたことを元に、地域で実践した活動を発表しました。



[D]



[C]

【写真解説】

[A] 第3回子ども防災サミット

パネルディスカッションで壇上に勢ぞろいした代表児童60名。パネリスト4名による意見発表の後、会場を含めた全員での討議が行われました。

[B] 第1回子ども防災サミット

初顔合わせとなった第1回サミットでは、代表児童1人ひとりが自己紹介を行いました。



[B]

第3回子ども防災サミット

前回のサミットや防災先進地研修で学んだことなどを学校や地域へどのように発信し、地元の方や先生とどのような取り組みを行ったか、また、災害から身を守るためには何が大切かなどについて、熱心な意見交換が行われました。

2月9日、市内全域の小学校6年生約1200人が総合文化会館に集まり、12歳教育推進事業の総括ともいえる、第3回子ども防災サミットが開催されました。

サミットでは、代表4校による実践発表や、会場の児童全員によるパネルディスカッションが行われ、防災学習で学んだことや災害への備えの大切さなどが熱心に話し合われました。

実践発表（発表校・題名）

- ① 神戸小学校
砂防学習への取組
- ② 壬生川小学校
防災先進地研修
- ③ 石根小学校
タウンウォッチングへの取組
- ④ 飯岡小学校
きらりプロジェクト『防災』

子ども防災サミットを振り返って

パネルディスカッションテーマ
○防災の学習をして学んだこと
○学んだことをみんなに広げるために

平成18年度の子どもの防災サミットを通して、子どもたちの成長していく様子が見られました。素直な澄み切った目と、みずみずしい感性、サミットに参加したことで養われた行動力など、将来の西条市を担う新しい力の芽吹きを感じました。

また、防災に対する真剣な取り組み姿勢や自ら行動する力、地域社会の一員として何ができるかを考える力など、子どもたちは「生きて働く防災力」を着実に身に付けています。

今後、各中学校で行う「防災教育推進モデル事業」での取り組みにも期待します。

12歳教育推進事業に関するお問い合わせ先
市庁舎別館学校教育課
TEL 089715615151
(内線5321)

松山地方気象台からのお知らせ

丹原地域気象観測所を周布に移設し「西条地域気象観測所」に名称変更

松山地方気象台では、西条市西消防署移転に伴い、丹原町願連寺の西消防署に設置していた丹原地域気象観測所（アメダス）を、2月16日から周布（上水道の周布水源地）に移設しました。

これに伴い、観測所名を「丹原」から「西条」に変更します。また、気象情報などにおいて、同観測所の観測値を発表する際には「西条市周布」として発表します。なお、観測所の移動距離が約1.2km（5km以内）のため、観測所の統計は継続されます。

地域気象観測所の移設位置図



自主防災組織の結成状況等をお知らせします

自主防災組織の結成状況 (平成19年2月1日現在)
組織率：45.1% 組織数：119組織

地元説明会の実施状況 (平成19年2月1日現在)
回数：45回 参加数：2,345人
<内訳>
組織結成関係 回数：23回 参加数：870人
防災地図作成 回数：12回 参加数：393人
講習・その他 回数：10回 参加数：1,082人

問合せ 市庁舎本館危機管理課
防災事業係
TEL0897-56-5151 内線3123